

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 19 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏 名	大勝裕史
研究課題	ハリウッドの戦争映画研究と映画の教育的活用				
研究キーワード	戦争映画、ネオ・ノワール、ジョン・ウェイン、身体性、間主観性	当年度計画に対する達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連するSDGs項目	16. 平和と公正をすべての人に	5. ジェンダー平等を実現しよう	該当なし		該当なし

1. 研究成果の概要

映画研究に関しては、7月に所属学会から依頼された書評を書いた。10月には、数年に渡る執筆と編集期間を経た『アメリカ映画史入門』がようやく刊行された。年が明けて特別講義、学会発表を二本、立て続けに行った。2月に大東文化大学大学院で「ヴェトナム戦争時代のネオ・ノワール」という題目で特別講義を実施し、3月に英米文化学会で発表「ネオ・ノワールとしての『ダーティハリー』：グローバル・ノワールの視点から」を行った。

映画の教育的活用に関しては、3月に言語教育エキスポ 2025 で「ことばの身体性と交響性：AI時代の映画教育」と題する発表を行った。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

2024年7月31日、共著、酒井志延・大勝裕史・土屋佳雅里・加藤澄恵「スマホネイティブのChatGPTと機械翻訳に対する意識についての分析」『千葉商大紀要』第62巻 第1号、1-14頁。

2024年10月31日、共著、『アメリカ映画史入門』（三修社）、「プレストン・スタージェス」「ジョージ・キューカー」「マーティン・スコセッシ」「タクシードライバー」「ロジャー・コマン」「戦争映画」の項目を執筆。

【学会発表等】

2024年5月31日、随筆「蟻の兵隊のゆくえ」『きずな』第45号、94-95頁。

2024年7月31日、書評「川本徹著『フロンティアをこえて——ニュー・ウェスタン映画論』森話社、2023年」『日本映画学会会報』第72号、22-25頁。

2024年9月28日、市川市民講座（於千葉商科大学）「ジョン・ウェインの戦争映画：映画を通してみるアメリカの歴史」

2025年2月22日、大東文化大学大学院英文学専攻特別講義（於大東文化会館）「ヴェトナム戦争時代のネオ・ノワール」

2025年3月2日、言語教育エキスポ 2025（於中央大学茗荷谷キャンパス）「ことばの身体性と交響性：AI時代の映画教育」

2025年3月9日、英米文化学会例会（於武蔵大学）「ネオ・ノワールとしての『ダーティハリー』：グローバル・ノワールの視点から」

3. 主な経費

所有しているノート PC が老朽化してきたので新しいものを購入した。その他の経費の主要な使途は、DVD や文献である。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

千葉商科大学学術研究助成金、個人研究、課題名「ヴェトナム戦争時代のネオ・ノワール」

（本文は 2 ページ以内 にまとめること）

20xx 年度 個人研究実績・成果報告書（記入例）

20xx 年 月 日

所属	選択してください (プルダウン)	職名	選択してください (プルダウン)	氏 名	千葉 商太郎
研究課題	【研究実施計画書に記載した題目と一致させてください】				
研究キーワード	【研究内容を示すキーワードを いくつか記載してください】	当年度計画に対す る達成度	選択してください (プルダウン)		
関連する SDGs項目	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対 策を	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

SDGs の 17 の項目は以下の URL から確認できます。
プルダウンより**該当がない場合は「該当なし」**を、複
数関連する場合はそれぞれを選択してください。
<https://www.cuc.ac.jp/sdgs/index.html>

1. 目標を超える研究の進展・成果を達成した
2. 順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
3. 概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に
遅れ等が発生した
4. 当初の計画どおり研究が進まなかった

2. 著書・論文・学会発表等
(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)
【論文（査読あり）】
論文名、著者名、共著・単著、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年 等
【著書・論文（査読なし）】
著書名、著者名、発行年、出版社名、共著の場合は担当した章 等
論文名、著者名、共著・単著、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年 等
【学会発表等】 発表テーマ、大会名、発表年月、場所等

3. 主な経費
(例①) ○○の統計分析のため、統計ソフトを購入したほか、関連書籍の購入や文具代に使用した。
(例②) 共同研究者と打合せのため、アメリカ出張を行った。
※金額の大きな支出や特徴的な支出について記載してください。すべての支出品目について記載する必要はありません。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）
【表彰】
・ 20xx 年度○○学会若手研究者奨励賞（○○学会、20xx 年 12 月）
【科学研究費】
・ 若手研究：令和 xx 年度～令和 xx 年度、代表、課題名「○○に関する研究」（xxK99999）
・ 基盤研究（A）：令和 xx 年度～令和 xx 年度、分担、課題名「■■に関する研究」（xxH99999）
【その他の助成金】
・ 公益財団法人○○財団 20xx 年度学術助成金 課題名「▲▲に関する研究」
・ 千葉商科大学学術研究助成金 個人研究、課題名「××に関する考察」
【その他の活動】
・ ○○に関する委員会委員（○○省）

(本文は2ページ以内にまとめること)